



新規学卒者等の採用拡大についてのお願い

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

本道における経済・雇用対策の推進につきましては、平素より格別のご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、最近における道内の新規学卒者の就職環境は厳しい状況が続いており、本年3月卒業者の就職内定率は大学等が86.8%、高校が85.0%と前年を上回ったものの、ともに全国平均を下回っており、未就職のまま卒業した者の多くが今もなお求職活動を行っている状況にあります。

経済情勢は東日本大震災の影響もあり、先行き不透明な状況にあります。若年労働力の確保と育成は、道内企業の将来にわたる競争力の維持・強化はもとより、今後の北海道経済の発展と安定を図るうえで、極めて重要な課題でありますので、若者が生き生きと活躍できる場を関係者が一丸となって確保することが不可欠であると考えております。

また、全国的にも大学等卒業者の就職環境は一段と厳しい状況が予想されますことから、先般、政府においては、文部科学大臣、厚生労働大臣並びに経済産業大臣の連名により、主要経済団体に対して新規学卒者等の採用拡大や選考における多様な経験の評価等に関する要請を実施したところです。

このようなことから道内におきましても、北海道、北海道教育委員会、北海道労働局、北海道経済産業局をはじめ関係行政機関が相互の緊密な連携のもと、新規学卒者が将来への希望を胸に正社員として就職できるよう、全力を挙げて就職支援の取組を進めているところでありますので、貴会におかれましても、来春の新規学卒者に対する求人枠の確保と、青少年雇用機会確保指針に基づく3年以内既卒者の新卒扱いや通年採用の拡大について、貴会会員企業の皆様方にも更なるご理解を賜りますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

なお、採用選考においては、厚みのある人材育成という観点から、教育的意義の大きい海外留学やボランティアなどの様々な活動を通じて得られる多様な経験についてもご考慮いただくなど、将来性を含めて長期的な視点に立たれたご判断をいただきますようお願いいたします。

あわせて、従前よりクールビズを通じて節電や温暖化防止の取組を推進しておりますが、今年には更なる普及・啓発の強化に努めておりますので、企業内のみならず、就職活動中の学生等に対しても、採用試験の際の軽装を促していただくなど、ご配慮賜りたくお願い申し上げます。

謹言

平成23年7月20日

北海道経済連合会 会長 近藤 龍夫 殿

北海道知事 高橋 はるみ

北海道教育委員会教育長 高橋 教一

北海道労働局長 高原 和子

北海道経済産業局長 和田 修一